

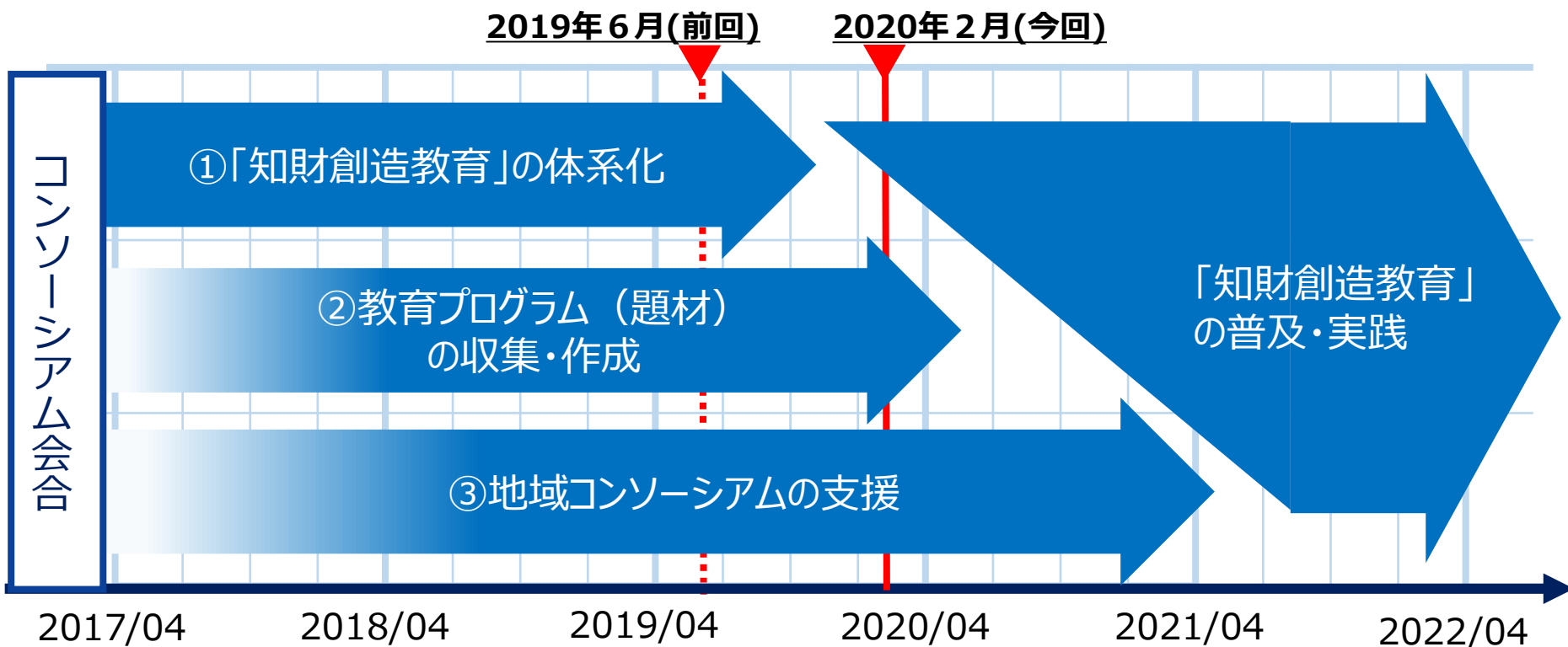
# 知財創造教育推進コンソーシアム 検討委員会（第7回）

## 事務局説明資料

2020年2月19日

内閣府 知的財産戦略推進事務局

# 前回検討委員会からの取組について



- ① 体系化された知財創造教育の考え方について普及・啓発を推進
- ② 教育プログラムの収集・公表。教員が自主的に開催している研究会と連携した教材の開発。秀逸な教材・取組等を表彰する仕組みの構築に向けた検討
- ③ 全国8地域について、地域に根差した地域コンソーシアムの構築に向けて2019年9月より調査事業を開始。年度内に各地域で2回の会合と、実証授業を開催予定

## 教員に向けた取組

- 公開形式の実証授業開催
- 教育プログラムの収集・作成
- 大学での知財創造教育に関する授業実施の促進
- 教員が自主的に開催している研究会と連携した学習指導案の作成（実施中）
- 教員免許状更新講習における「知財創造教育」に関する講座の実施（検討中）

## 普及に向けた環境醸成に関する取組

- メディアを活用した普及
- 学会やイベントでの講演・ブース出展
- 知財創造教育パンフレットの配布
- 知財創造教育の教育効果の測定（試行中）
- 秀逸な教材や取組を表彰するための制度構築（検討中）



8月7、8日「こども霞が関見学デー」に出展

## 教育プログラムの収集状況（継続して実施中）

- 産学官の賛同者から、210の教材、176の工場等見学、144の出前授業を収集
- 校種や科目による絞り込み、キーワード検索機能などを備えてHPで公表

### 学習指導要領と紐づいた教育プログラム

※各教育プログラムの内容がどの学習内容に該当するかは、各団体のご判断によるものです。

**■利用例①:フリーワードで検索**  
 (1)フリーワード欄の行(18行目)を選択(一番左側の「S」をクリック)  
 (2)「OK」キーを押しながら「F」を押し、「検索と置換」画面を出し、検索したいフリーワードを入力する。  
 (3)該当するワードがある場合は、そのワードがあるセルへと移動するので、内容を確認する。

**■利用例②:教材から検索**  
 (1)以下の「教材など」の「F」(フィルター機能)をクリックし、検索したい教材等を選択する。  
 1) Fをクリック後、「すべて選択」のボックスのチェックを外す。  
 2) 検索したい教材等のボックスにチェックを入れる。  
 (2)「自由創造教育における学習内容」の各項目に該当する欄に「○」が付いている教育プログラムを確認する。

No.	教材1	教材2	教材3
団体名	特許庁		
担当部署	企画調査課		
電話番号	03-3592-2911		
メールアドレス	高木 宏樹 (haseki@novel.mpo.go.jp)		
教材名	発明まるわかり あなたちから今日から発明博士	ア	3
媒体	インターネット		
媒体URL	<a href="https://www.ipa.go.jp/for/ks/en/ncba/3ds_page/3ds/">https://www.ipa.go.jp/for/ks/en/ncba/3ds_page/3ds/</a>		
形態	教材の提供		
教材の公開・非公開	公開		
教材利用に要する費用	無料		
講師派遣の可否・経費	否		
教材・派遣等の費用目安	—		
指導室の有無	無		
時間	50分以内		
ページ数(冊子の場合)	16		
備考	フリーワード(教材内容等特許庁提供のもの)を単語や文章で記載 発明などの知的財産や特許などの知的財産等について知るための教材。マカガイブ・特許などによって変えながら学ぶことのできる。		

学校区分	知財創造教育の三つの柱	教材など	学年など	知財創造教育における学習内容
小学校				
小学校	国語	[第3学年]	引用の仕方や出典の示し方・(脚)・・を埋め、使う(第2の[第3学年及び第4学年])と(知識及び技能)(2イ)	
小学校	(1)知的財産のきまりを知る	[日本知財学]	○	著作物やアイデアを大切にすることの重要性に気づく
小学校		[日本知財学]	○	著名な発明家・発明を知る
小学校		[日本知財学]	○	自分と他者の著作物を区別できる
小学校		[日本知財学]	○	知財の考え方を知る
小学校		[日本知財学]	○	特許の考え方を知る
小学校		[日本知財学]	○	著作権の考え方や注意事項を知る
小学校				
小学校				

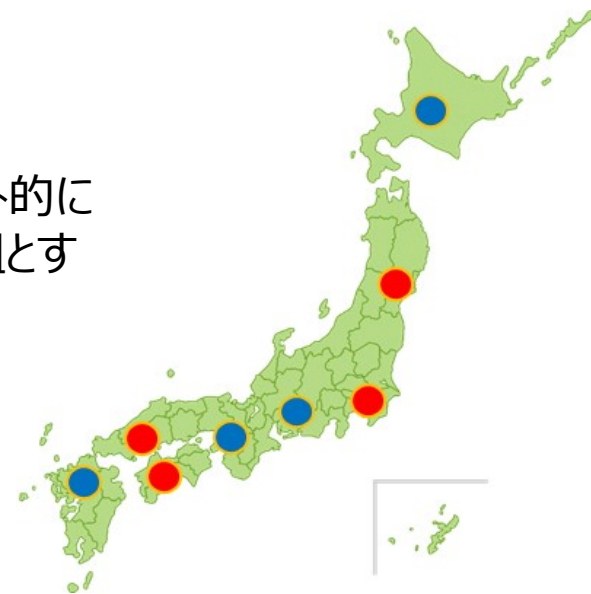
### 教材提供いただいた団体

団体名	プログラム数		団体名	プログラム数	
	小・中学校	高等学校		小・中学校	高等学校
特許庁	6	5	キャノン株式会社	9	3
北海道経済産業局	1	1	CUBIS Project	1	1
関東経済産業局		1	一般財団法人日本規格協会	1	1
中部経済産業局	1		山口大学	21	
沖縄総合事務局	1		東京学芸大学	3	3
文化庁	7	5	東京学芸大学附属世田谷中学校	1	
公益社団法人著作権情報センター	10	10	東京学芸大学附属竹早中学校	1	
日本文藝家協会		2	秋田大学教育文化学部附属小学校	2	
一般社団法人日本音楽著作権協会	4	3	新潟大学教育学部附属新潟中学校	1	
(独)工業所有権情報・研修館	1	1	広島商船高等専門学校	1	2
日本弁理士会	37	30	仙台高等専門学校		1
刈谷少年少女発明クラブ	3		北九州高専		1
日本行政書士会連合会	5	3	都城工業高等専門学校		1
日本放送協会	12		発明推進協会	3	
東レ株式会社	4				
			<b>小計</b>	<b>136</b>	<b>74</b>
			<b>合計</b>	<b>210</b>	

## 今年度調査の目的

昨年度の調査結果を踏まえ、全国をカバーする8地域でパイロット的に立ち上げているコンソーシアムを、地域に根差した地域主体の取組とするための方策等を検討

- ・北海道、中部、近畿、九州（2017年度から立ち上げ）
- ・東北、関東、中国、四国（2018年度から立ち上げ）



## 今年度調査の内容

- 各地域で6名以上の委員からなる「地域コンソーシアム」を構築・運営し、会合を開催して下記について検討する
  - 教員が「知財創造教育」に主体的に取り組むための環境整備
  - （先行4地域について）次年度以降における地域に根差した地域主体の「地域コンソーシアム」の構築
  - 「実証授業」における授業内容
  - 特定の才能に秀でた尖った人材が才能を伸ばし、活躍するための場や取組
- 教育プログラム等に基づき、各地域内の学校等において児童・生徒向けに実証を実施すると共に、知財創造教育の説明会と意見交換会を開催する

## 実証授業の開催時期・内容

地域	実施校	開催日	時間 (説明会・意見交換会含む)	対象	科目	内容
北海道	札幌市立宮の丘中学校	2月12日	13:35~15:25	中学2年生	美術科	マークのデザイン作成
東北	宮城教育大学附属中学校	3月開催で調整中				
関東	学芸大附属世田谷中学校	1月23日	10:00~12:30	中学2年生	音楽科	知的財産権教育「知的財産権に関して、当事者として考える」
中部	愛知教育大学附属高校	1月23日	12:30~14:30	高校2年生	公民科/家庭科	自己責任が果たせる自立した消費者を目指す
近畿	四天王寺学園高等学校	2月20日	13:25~14:15	高校1年生	物理基礎/情報の科学	熱エネルギーを利用した発明
中国	萩市立福栄小中学校	1月23日	9:30~12:10	小学5年生	総合的な学習の時間	アイデアのことを考える本より「滑らない紙コップ」
四国	砥部町立宮内小学校	2月3日	9:30~12:10	小学5年生	総合的な学習の時間	アイデアのことを考える本より「滑らない紙コップ」
九州	福岡教育大附属福岡小学校	2月10日	9:30~12:10	小学5年生	総合的な学習の時間	アイデアのことを考える本より「滑らない紙コップ」

# 今後の方向性について



## ①【知財創造教育】の体系化

- 小中高等学校における体系化を完了
- 学習指導要領との関係を整理
- 年間学習計画表と知財創造教育との対応関係を示した資料を作成

## ②教育プログラムの収集・作成

- 産学官の賛同者から、210の教材、176の工場等見学、144の出前授業を収集し、絞り込み機能などを備えてHPで公表（継続して実施中）
- 小中高等学校向けの教員向け学習指導案「未来を創る授業ガイド」を作成

## ③地域コンソーシアム支援

- 全国8地域に地域コンソーシアムを設置し、各地域において年2回の会合を開催
- これまでに地域コンソーシアムを通じて全国で計39件の実証授業を実施

- これまでの取組を通じて知財創造教育の基盤構築に取り組んできた
- 今後はこれらの成果を基に、さらなる普及・実践に取り組む

## 教員に向けた取組：深く共感・理解してもらう/実践してもらう

- 教員が自主的に開催している研究会と連携した取組
- 知財創造教育を実践する教員を後押しする仕組みの検討
- 秀逸な教材・取組等の表彰の仕組みの検討
- 教員を志す学生に向けた取組

## 普及に向けた環境醸成に関する取組：広く知ってもらう/実践を後押ししてもらう

- メディアやイベントを通じた情報発信
- 学校関係者（管理職、周囲の教員）、保護者、地方公共団体の長、教育委員会、地域企業等に向けた取組
- 地域社会を巻き込んだ、地域の魅力を活かした知財創造教育を推進する取組
- 地域での知財創造教育の普及の拠点となる学校を後押しする仕組みの検討

- 検討委員会の下に、学校関係者等の有識者によるWGを立ち上げ、今後の普及・実践に向けた具体的な取組を検討してはどうか

## 知財創造教育推進コンソーシアム 検討委員会



## 知財創造教育の普及・実践WG (5名程度を予定)

### ●WGの取組み（案）

#### 1. 検討事項案

##### 教員に向けた取組

- 教員が自主的に開催してる研究会へどうアプローチするのがよいか。どのような連携ができるか
- 知財創造教育を実践する教員を後押しする仕組みとしてどのようなものがよいか
- 秀逸な教材・取組等の基準は何か。選考方法はどのようなものがあるか
- 教員を志す学生にはどう周知するのがよいか

##### 普及に向けた環境醸成に関する取組

- メディアに発信してもらうための有効な手段はあるか。イベントの内容はどのようなものがよいか
- 学校関係者、地域の首長や企業へはどうアプローチするのがよいか
- 地域での知財創造教育の普及の拠点となる学校を後押しする仕組みとしてどのようなものがあるか

#### 2. 外部専門家によるヒアリング

- 知財創造教育を実践できる教員をどんどん養成していかないといけない
- 教員免許の更新講習への導入や、知財創造教育セミナーを実施すべき
- 教科ごとの勉強会を活用するのがよい
- 先生向けの講義や指導ができる人が必要
- マスコミと保護者を巻き込むのが大事
- 各地で開催されている子供向けのイベントとコラボしてはどうか
- 学校のリーダーは校長。ここにアプローチするのは正しい
- モデル校指定や取組募集のスキームを検討することは、普及のためには非常に重要な取組
- 教育委員会から知財創造教育を実践してよいとなれば、先生方が校長の了解を得て授業を実施しやすくなる
- 既存の取組とタイアップして知財創造という観点で評価・表彰するような発想があると、知財創造教育が大事なことであるというメッセージにもつながる
- カリキュラム・マネジメントや地域を巻き込んだ取組みなども重要な評価軸